

ひふみ投信 月次ご報告書

追加型投信/内外/株式

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ

資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、ありがとうございます。

運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



おかげさまで

ひふみ投信10周年

運用実績

基準価額の推移（日次）



作成基準日：2019年4月26日

※当レポートで言う基準価額とは「ひふみ投信」の一万口あたりの値段のことです。また信託報酬控除後の値です。

※ひふみ投信の当初設定日の前営業日（2008年9月30日）を10,000円として指数化し、基準価額とTOPIXのグラフや設定来の運用実績の表を作成しています。

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXとは東証株価指数のことです。東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額（株数×1株当たり時価）の合計を指数化して算出され、日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。TOPIX（配当込み）とは、配当収益を考慮して東京証券取引所が算出・公表している指数です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用実績など表記の値については小数点第二位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※純資産総額は1,000万円未満を切捨てて表示しています。

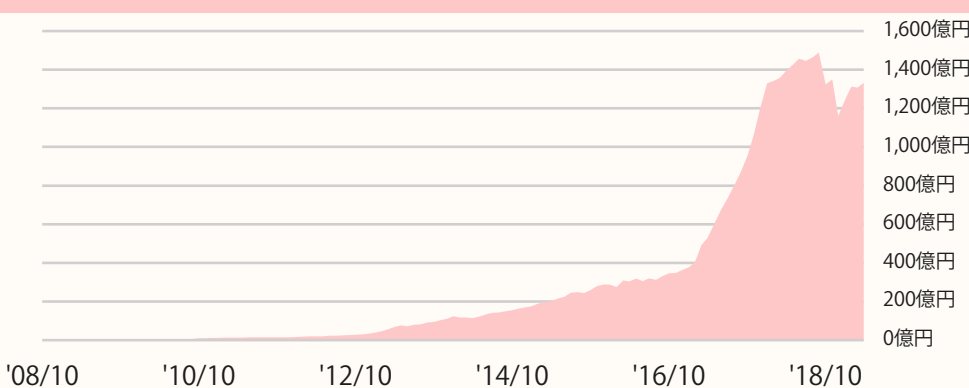
※受益権総口数とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

※ひふみ投信は、ひふみ投信マザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

純資産総額の推移（月次）



運用成績

| | 1ヶ月 | 3ヶ月 | 6ヶ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|-------|------|------|-------|-------|-------|--------|
| ひふみ投信 | 2.9% | 8.3% | 1.8% | -8.6% | 42.4% | 370.6% |
| TOPIX | 1.7% | 4.4% | -0.4% | -6.8% | 28.9% | 85.6% |

ひふみ投信の運用状況

| | |
|--------|-----------------|
| 基準価額 | 47,057円 |
| 純資産総額 | 1331.5億円 |
| 受益権総口数 | 28,295,711,996口 |

分配の推移（1万口当たり、税引前）

| | | |
|------|----------|----|
| 第5期 | 2013年9月 | 0円 |
| 第6期 | 2014年9月 | 0円 |
| 第7期 | 2015年9月 | 0円 |
| 第8期 | 2016年9月 | 0円 |
| 第9期 | 2017年10月 | 0円 |
| 第10期 | 2018年10月 | 0円 |

ひふみ投信 投資信託財産の構成

| | |
|--------------|--------|
| ひふみ投信マザーファンド | 100.1% |
| 現金等 | -0.1% |
| 合計 | 100.0% |

設定来合計 0円

資産配分比率などの状況

ひふみ投信マザーファンドの状況

| | |
|---------|----------|
| 純資産総額 | 7666.2億円 |
| 組み入れ銘柄数 | 237銘柄 |

市場別比率

| | |
|--------|--------|
| 東証一部 | 80.0% |
| 東証二部 | 1.0% |
| マザーズ | 2.8% |
| JASDAQ | 1.5% |
| その他海外株 | 12.7% |
| 現金等 | 2.0% |
| 合計 | 100.0% |

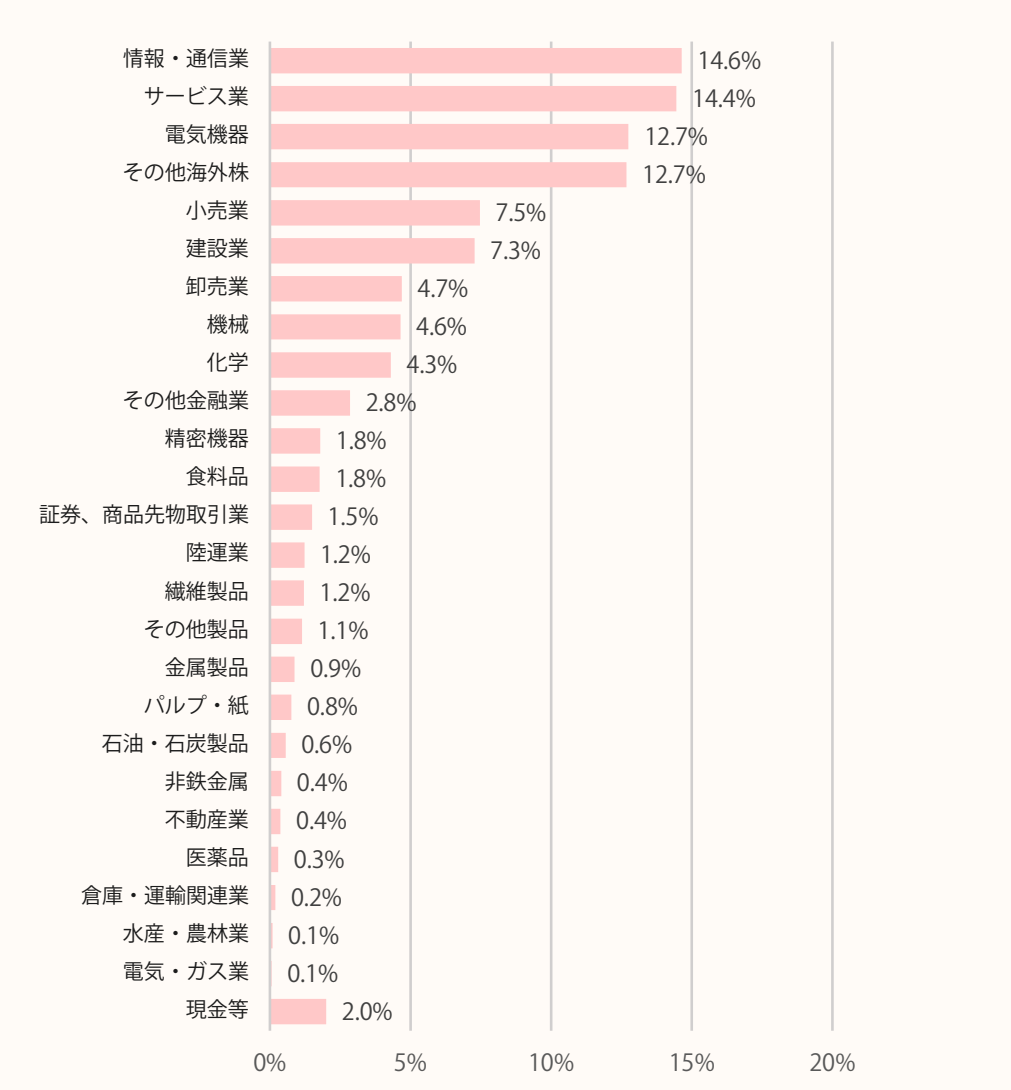
資産配分比率

| | |
|------|--------|
| 国内株式 | 85.3% |
| 海外株式 | 12.7% |
| 現金等 | 2.0% |
| 合計 | 100.0% |

※「資産配分比率」「市場別比率」「業種別比率」はマザーファンドの対純資産比率にて表示しております。

※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

業種別比率



※業種別比率について：東証33業種分類を用いて表示しています。非保有の業種は表示されません。

また海外株式については「その他海外株」として表示しています。

銘柄紹介（基準日時点の組入比率1～10位）

| | 銘柄名 | 銘柄コード | 規模 | 上場市場 | 業種 | 組入比率 |
|----|--|---|-----|--------|--------|------|
| | 企業ロゴ等 | 銘柄紹介 | | | | |
| 1 | 協和エクシオ  | 1951 | 大型 | 東証一部 | 建設業 | 2.4% |
| | | 電気通信設備工事のリーディングカンパニー。光ファイバーケーブル網の敷設や、サーバーによるネットワークの構築等を全国規模で行ない、日本の情報インフラを支える。 | | | | |
| 2 | 東京センチュリー  | 8439 | 大型 | 東証一部 | その他金融業 | 2.1% |
| | | みずほFG、伊藤忠商事などを母体とする会社。競合他社の参入が難しいとされる航空機、環境エネルギー、不動産事業に積極的に取り組むことで、成長を目指す。 | | | | |
| 3 | ネットワンシステムズ  | 7518 | 中小型 | 東証一部 | 情報・通信業 | 2.0% |
| | | ネットワーク構築から運用まで、「つなぐ・むすぶ・まもる・かわる」をコンセプトにサービス提供。働き方改革を背景としたIT投資やセキュリティニーズの増加を追い風にした成長を期待。 | | | | |
| 4 | 光通信  | 9435 | 大型 | 東証一部 | 情報・通信業 | 1.9% |
| | | 同社の強みである営業力を生かして、インターネット回線や水、保険など複数のストックビジネス（毎月安定的に収益を得られるビジネス）を手掛ける。 | | | | |
| 5 | ダイフク  | 6383 | 大型 | 東証一部 | 機械 | 1.6% |
| | | コンサルティング、設計、製造、据付などをワンストップで請け負う、保管・搬送システム企業。インターネットショッピング拡大が物流業界の人手不足に拍車をかけており、企業の機械化投資が進む。 | | | | |
| 6 | OLLIE'S BARGAIN OUTLET HOLDINGS  | OLLI | 大型 | NASDAQ | その他海外株 | 1.6% |
| | | アメリカの小売企業。メーカーや他の小売店の過剰在庫や倒産企業の在庫を格安で仕入れることで特に低所得者層に魅力的な価格での販売を実現している。現在、東海岸中心の店舗網であり今後の店舗網拡大の余地も大きい。 | | | | |
| 7 | ショーボンドホールディングス  | 1414 | 中小型 | 東証一部 | 建設業 | 1.6% |
| | | 橋梁やトンネルといった道路構造物をはじめとするインフラの補修・補強を行なう。日本全国で進行している公共インフラ老朽化の対策を担う。 | | | | |
| 8 | リクルートホールディングス  | 6098 | 大型 | 東証一部 | サービス業 | 1.6% |
| | | 人材の求人・派遣・紹介や販売促進などのサービスを提供するプラットフォームを運営。グローバルにサービス展開することで成長。 | | | | |
| 9 | アマノ  | 6436 | 中小型 | 東証一部 | 機械 | 1.5% |
| | | 就業時間管理システムや駐車場管理、床面洗浄機をはじめ、企業の労働環境改善に向けた製品を提供。働き方改革が進む中、当社製品の引き合いが強まる可能性も。また営業にも強み。 | | | | |
| 10 | 日本電産  | 6594 | 大型 | 東証一部 | 電気機器 | 1.5% |
| | | 「回るもの、動くもの」に特化した電気機器製造会社。精密小型モーターから超大型モーターまで、世界ナンバーワンのラインナップを誇る。日本を代表する永守社長のリーダーシップにも注目。 | | | | |

※規模は作成基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型（3,000億円以上）、中小型（300億円以上、3,000億円未満）、超小型（300億円未満）

※「組入比率」はマザーファンドの対純資産比率です。

銘柄紹介 (2019年1月31日時点)

| | 銘柄名 | 銘柄コード | 規模 | 上場市場 | 業種 | 組入比率 |
|----|----------------------|-------|-----|--------|------------|------|
| 1 | 協和エクシオ | 1951 | 大型 | 東証一部 | 建設業 | 2.2% |
| 2 | 東京センチュリー | 8439 | 大型 | 東証一部 | その他金融業 | 2.1% |
| 3 | 光通信 | 9435 | 大型 | 東証一部 | 情報・通信業 | 2.0% |
| 4 | ガンホー・オンライン・エンターテイメント | 3765 | 中小型 | 東証一部 | 情報・通信業 | 1.8% |
| 5 | リクルートホールディングス | 6098 | 大型 | 東証一部 | サービス業 | 1.8% |
| 6 | アンリツ | 6754 | 中小型 | 東証一部 | 電気機器 | 1.8% |
| 7 | 共立メンテナンス | 9616 | 中小型 | 東証一部 | サービス業 | 1.8% |
| 8 | ネットワンシステムズ | 7518 | 中小型 | 東証一部 | 情報・通信業 | 1.7% |
| 9 | ショーボンドホールディングス | 1414 | 中小型 | 東証一部 | 建設業 | 1.7% |
| 10 | ダイフク | 6383 | 大型 | 東証一部 | 機械 | 1.7% |
| 11 | SUMCO | 3436 | 大型 | 東証一部 | 金属製品 | 1.6% |
| 12 | AMAZON.COM INC | AMZN | 大型 | NASDAQ | その他海外株 | 1.6% |
| 13 | MICROSOFT CORP | MSFT | 大型 | NASDAQ | その他海外株 | 1.5% |
| 14 | VISA INC-CLASS A | V | 大型 | NYSE | その他海外株 | 1.5% |
| 15 | コスモス薬品 | 3349 | 大型 | 東証一部 | 小売業 | 1.5% |
| 16 | シスメックス | 6869 | 大型 | 東証一部 | 電気機器 | 1.4% |
| 17 | 九電工 | 1959 | 中小型 | 東証一部 | 建設業 | 1.4% |
| 18 | 日本電産 | 6594 | 大型 | 東証一部 | 電気機器 | 1.3% |
| 19 | アマノ | 6436 | 中小型 | 東証一部 | 機械 | 1.3% |
| 20 | ソニー | 6758 | 大型 | 東証一部 | 電気機器 | 1.3% |
| 21 | GMOペイメントゲートウェイ | 3769 | 大型 | 東証一部 | 情報・通信業 | 1.3% |
| 22 | ジャフコ | 8595 | 中小型 | 東証一部 | 証券、商品先物取引業 | 1.2% |
| 23 | INTUIT INC | INTU | 大型 | NASDAQ | その他海外株 | 1.2% |
| 24 | ミライト・ホールディングス | 1417 | 中小型 | 東証一部 | 建設業 | 1.1% |
| 25 | あいホールディングス | 3076 | 中小型 | 東証一部 | 卸売業 | 1.1% |
| 26 | リログループ | 8876 | 大型 | 東証一部 | サービス業 | 1.0% |
| 27 | TDK | 6762 | 大型 | 東証一部 | 電気機器 | 1.0% |
| 28 | 兼松 | 8020 | 中小型 | 東証一部 | 卸売業 | 1.0% |
| 29 | 宝ホールディングス | 2531 | 中小型 | 東証一部 | 食料品 | 1.0% |
| 30 | クレハ | 4023 | 中小型 | 東証一部 | 化学 | 0.9% |

※規模は以下の区分に基づき作成しています。

大型 (3,000億円以上)、中小型 (300億円以上、3,000億円未満)、超小型 (300億円未満)

※「組入比率」はマザーファンドの対純資産比率です。

4月の株式相場は中国マクロ指標の改善や米中貿易協議の進展期待を背景に底堅い展開に終始し、月末の日経平均株価は前月比5.0%高の22,258.73円に反発しました。

中国の製造業PMIの上振れをきっかけとして4月の株式相場は大幅高でスタートしました。これまで中国のマクロ指標は弱い数字が続いており、景気後退懸念が高まっていました。しかし、今年に入ってから政府主導の積極的な財政政策により、マクロ指標も改善の兆しが見られるのではと期待に応える結果となり、株式市場に安心感を与えました。また米中貿易摩擦ではトランプ大統領、習主席が共に協議進展に言及するなど、合意期待が高まったことで特に中国株の強さが際立ちました。

日本株に関しては市場での売買が非常に閑散となり、日経平均株価は底堅い動きが続きましたが、それでも15日に日経平均株価は大幅高となり、22,000円の大台を上抜け、年初来高値を更新しました。その背景には中国貿易輸出の予測比大幅上振れや中国人民銀行が銀行融資を大幅に増加させていたことなどが好感されたことがあげられます。しかしその後は再び小動き商状に戻り、大きく上昇していた中国株も短期的な過熱感や材料出尽くし感から4月序盤を過ぎると上値が重くなりました。

また米国株は好調な決算などを背景に堅調推移を辿ったものの、史上最高値水準を回復したこともあってか上値は限定的と、グローバルで方向感に欠ける展開が続きました。

月半ば以降の日本株市場は10連休を控えていることもあってか見応えに欠ける商状が長らく続き、4月15日から月末までの日経平均株価は僅か300円の値幅でのレンジ推移に終始しました。その結果、マーケットの不安心理を表すと言われている日経ボラティリティ指数は先月以上に低下し、17日には昨年8月以来の低水準を記録した他、マーケットの活況度合いを示す東証一部の売買代金も低迷し、22日には1.6兆円と2017年12月以来の低水準を記録と、手控えムードのまま月末を迎えました。



トレーディング部長
岡田 雄大

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

4月の運用について

4月もひふみはTOPIX（配当込み）を上回る成果を出すことができました。過去を振り返るとどの年も4月の運用成績はTOPIX（配当込み）になぜか負けることが多いので、今月はどうなるだろうと多少不安ではありました。そのようななかで、しっかりと成績を出し、今年に入ってから4ヶ月連続、TOPIX（配当込み）を上回ることができています。また、ひふみは過去10年以上の運用期間の中で、大幅に下落した後の反発力が強いのですが、今回も同じような動きを見せ、ひふみらしい展開になっています。



代表取締役社長
最高投資責任者
藤野 英人

ファンドの運用としては、米国株が上昇したため一部を売却し、日本株においては消費関連企業のウエイトを下げました。その一方で、半導体関連株など秋以降の業績回復が見込まれる企業の買い増しをすすめました。

トランプ大統領の関税引き上げ発言で、米中貿易摩擦の懸念が再燃し世界市場は再度、不安定になっています。このような環境でもしっかりと地味で地道な運用をしながら、市場動向にも対応した運用をしていこうと思います。これからも全力を尽くして運用しますので、ひふみをよろしく願います。

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

主要国株式市場は、米国株を牽引役として昨年末を底に反騰してきました。米中貿易協議の進展期待や、米金融政策の中立的スタンスへの転換（ハト派化）、中国経済の改善期待が主因に挙げられます。ところが、トランプ大統領による5月5日のツイートに激震が走りました。米国が中国からの輸入品2,000億ドル相当に対する関税率を現行の10%から25%に引き上げると警告し（5月10日から実施を正式決定）、さらに現在対象となっていない3,250億ドル相当の中国製品にも25%の関税をかける可能性を示唆しました。市場は、米中の通商交渉が最終合意に近づいていると楽観していましたが、不意をつかれる形になり、特に中国株は大幅安に見舞われました。大型連休明けの日本株も急落を交える波乱展開になるなど、世界的な株安連鎖の様相です。



運用本部
経済調査室長
三宅一弘

米国の対中追加関税が実施されると、世界経済に対する下ブレ不安が高まるなど、世界的な株価急落の波紋が広がりそうです。2020年の大統領選で再選を目指すトランプ大統領がそのような方向に進む可能性は極めて低いと推察されます。トランプ政権の対中強硬姿勢は、交渉をスムーズに進めるための手段とみられます。一方、中国政府にとっては、中国株の急落が示唆するように追加関税の実施による経済への打撃が極めて大きく、それを回避するように動くと考えられます。両国の力関係からは中国政府がトランプ政権に妥協せざるを得ないと推察されますが、一部に交渉決裂など貿易摩擦が激化するリスクシナリオ（テールリスク）もあって、市場は大波乱も視野にする神経質な展開です。

ところで、世界経済のモメンタム（勢い）や体温を示す指標の1つに世界半導体出荷額（売上高）があり、世界的なシリコンサイクルの代理指標として重要視されています。同指標は2018年9月をピークに急落していましたが、直近2019年3月分はボトムアウト（底入れ）の様相です。ITバブル崩壊と9.11テロのあった2001年や、リーマンショック後の2009年は非常に深い谷になりましたが、昨秋以降の調整がノーマル調整であれば、底値圏に到達し、年後半は回復局面に入っていくそうです。また、世界最大の需要地である米国経済をみますと、4月の経済指標は総じて「堅調」だったと評価されます。米国経済は良好な雇用・所得環境と、インフレ率や長期金利の低位・安定が並存しています。企業や家計、株式市場にとっては心地よい投資環境です。米中の貿易摩擦は大きな不透明・不安材料ですが、両国が早期に最終合意に達するベースシナリオ通りであれば、投資環境が改善する大きな流れが継続すると考えられます。

一方、日本はお祝いムードの中で5月1日から「令和」の時代がスタートしました。今後の国内イベントで焦点は、①10月からの消費税率引き上げ（8→10%）が予定通り実施されるのか、最終判断時期が接近していること、②7月に参院選が予定されますが、衆院選を同時に行うか（衆参同日選）です。経済面では5月20日に2019年1～3月期のGDP統計が発表になりますが、マイナス成長であった可能性が高いなど、春先まで減退が続いていたとみられます。G20大阪サミットが6月28、29日に開催され、テーマの1つは世界経済動向ですが、米中貿易摩擦の不安を抱える中で、議長国の日本が世界経済の足を引っ張る増税を行なうのか、懸念の声があります。また、日本経済に消費増税に耐える地力があるのかがカギを握りますが、安倍首相の最終判断が非常に注目されます。5月は国内外で重要イベントが多く、日本株式市場は乱高下を交える波乱相場が予想されます。ただ、世界シリコンサイクルの底入れ・回復など中長期の投資環境は改善方向とみられ、日本株は大勢上昇相場の中の踊り場の可能性が高いとみまます。



2018年10月1日に、ひふみ投信運用開始10周年を迎えることが出来ました。

これもひとえに皆様の多大なるご支援あってのものであり、心から感謝申し上げます。

【ひふみ投信10周年記念特別コンテンツ】今回は、人気投信ブロガーのm@（エムアット）さんにインタビューをさせていただきました。m@さんは、2017年に投資がきっかけで知った林業再生の会社「トビムシ」に転職し、埼玉県の所沢から福岡県の八女市に移住なさっています。ご自身のブログでは、投資の情報のみならず、八女での暮らしについてもご紹介されています。また、m@さんは「投信ブロガーが選ぶ！ Found of the Year」の運営メンバーとして、よい投資信託を選び、広める活動もされています。そんなm@さんのひふみとの10年間と投資信託に対するお考えを語っていただきます。

<https://www.rheos.jp/lab0/hifumi10th/2019/20190417.html>

毎月、トピックを用意して運用部のファンドマネージャー・アナリストのコメントを集めています。多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック：新しく年号が令和になりました。平成に置いていきたいもの、令和に持っていききたいものはなんですか？



Fujino Hideto

藤野 英人

代表取締役社長
最高投資責任者

平成においておきたいものはデフレ、令和に持っていききたいものは平和



Yuasa Mitsuhiro

湯浅 光裕

取締役運用本部長
シニア・
ファンドマネージャー

平成に置いていきたいものはよどみ、スタグネーション、令和に持っていききたいものはながれ、ロックンロール。



Watanabe Shota

渡邊 庄太

運用部長
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

持っていくのは「希望」、置いていくのは「感謝」。いろんな事があって楽しい思い出だけでなく悲しみ、反省や後悔ももちろんいっぱいあったけど、それらを明日に繋げていければな、と思います。



Yatsuo Hisashi

八尾 尚志

シニア・アナリスト

平成に置いていきたいものはネガティブシンキング、令和に持っていききたいのはポジティブシンキング。昨日より今日、今日より明日、そんな明るい気持ちをみんなが持てる新年号でありたいですね。



Kurioka Daisuke

栗岡 大介

シニア・アナリスト

平成に置いていくもの、令和に持っていくものは「時間」です。映画のように、過去や未来を自在に移動することは難しそうです。これまでも、これからも、一緒にいて楽しい人たちと大切に時間を過ごしたいと思います。



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト

「わかったフリ」と「シラけたフリ」は捨てさりたいと思うけれど、「無知」にもなりたくないし、「強欲」にもなりたくない。でも、勝ちたいし、負けたくない。そんな自己矛盾の中で勝負をする時と場所を、そして、それとなく&なんとなく感じ取れる感性と合理性を持っていく。まあ、いつも思っていることです。



Ono Shotaro
小野 頌太郎
アナリスト

置いていきたいのは「地方衰退」、持っていきたいのは「地方振興」。「地方」という括りは既に古い考え方かもしれません。世界中で都市間競争する時代に、自分の生まれ故郷である下関が活躍できるよう、私も微力ながら貢献したいと思います。



Katata Yuta
堅田 雄太
アナリスト

置いていきたいのは「満員電車」です。できるだけ満員電車に当たらないように心がけているのですが、電車遅延が発生したり少し乗り遅れて満員電車に当たってしまうと地獄です。出社時間を自由に決められたり、家で仕事ができる企業が増えると満員電車も減ると思うので、そんな企業を令和に持っていきたいです。



Wei Shanshan
韋 珊珊
シニア・アナリスト

令和に持っていきたいのは信念と行動力です。失敗を恐れずにチャレンジし続け、もっと明るい未来を作っていく力が各自にあると信じて行動しましょう。



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト

置いていきたいものは動物の殺処分、持っていきたいものは生き物への愛です。犬猫を飼いたいときペットショップからではなく、保健所や保護団体からの譲渡をぜひ検討してみてください。雑種でもとってもかわいい子たちが家族を求めて待っています。うちの子たちも元野良の雑種です。超かわいいです！



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

日本株式市場を考えますと、平成に置いていきたいものは「バブル崩壊後の負の遺産、構造調整の30年」、令和に持っていきたいものは「課題先進国・日本の新しい時代への適応力」でしょうか。令和の時代の日本株に期待したいです。

ひふみ投信の特色

「ひふみ投信」はマザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみ投信の投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- 「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

| | |
|--|---|
| 株 価 変 動 リ ス ク | 「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります。 |
| 流 動 性 リ ス ク | 有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。 |
| 信 用 リ ス ク | 有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となることを信用リスクといいます。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。 |
| 為 替 変 動 リ ス ク と カ ン ト リ ー リ ス ク | 外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります。 |

※投資リスク（基準価額の変動要因）は、上記に限定されるものではありません。

当資料のご留意点

当資料は、レオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社から交付される投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

当資料の情報の正確性について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

当資料の市場見通しやグラフ・数値等は、当資料作成時点での当社の見解や過去の実績であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。

ファンドの関係法人

委託会社： レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

受託会社： 三井住友信託銀行株式会社

販売会社： レオス・キャピタルワークス株式会社

当ファンドについてのお問い合わせ先

レオス・キャピタルワークス株式会社

コミュニケーション・センター

電話：03-6266-0123（受付時間：営業日の9時～17時）

メール：cc@rheos.jp

お申込メモ

| | |
|----------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 当初設定日 | 2008年10月1日 |
| 信託期間 | 無期限 |
| 決算日 | 毎年9月30日（休業日の場合、翌営業日） |
| 収益の分配 | 決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。 ひふみ投信は、分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。 |
| 購入単位 | 1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。 |
| 購入価額 | ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り） |
| 購入代金 | 販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。 |
| 換金（解約）単位 | 1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。 |
| 換金価額 | 解約の請求受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り） |
| 換金代金 | 請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。 |
| 申込締切時間 | 購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。 |
| 課税関係 | 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。 |

お客様にご負担いただく費用

◇ 直接ご負担いただく費用 : ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇ 間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

| | |
|------------------|--|
| 運用管理費用 （信託報酬） | 信託財産の純資産総額に対して年率 1.0584% （ 税抜年率0.980% ）の率を乗じて得た額。 信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。 日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき「ひふみ投信」の信託財産から支払われます。 |
| 監査費用 | 信託財産の純資産総額に対して年率0.0054%（税抜年率0.005%）の率を乗じて得た額（なお、上限を年間86.4万円（税抜年間80万円）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに「ひふみ投信」の信託財産から支払われます。 |
| その他費用 ・手数料 | 組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法を具体的に記載することはできません。 |